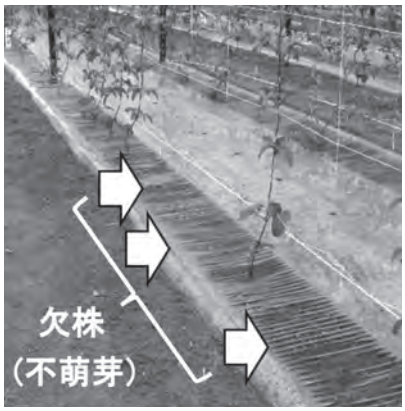
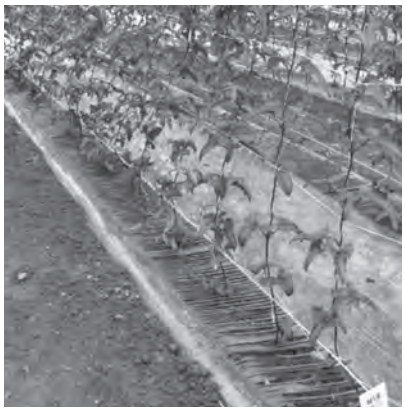
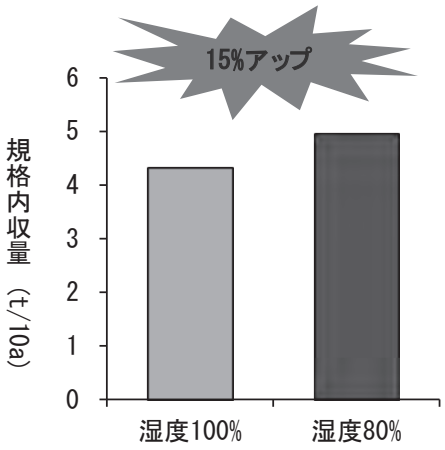
欠株(不萌芽)が減り、収量が増える



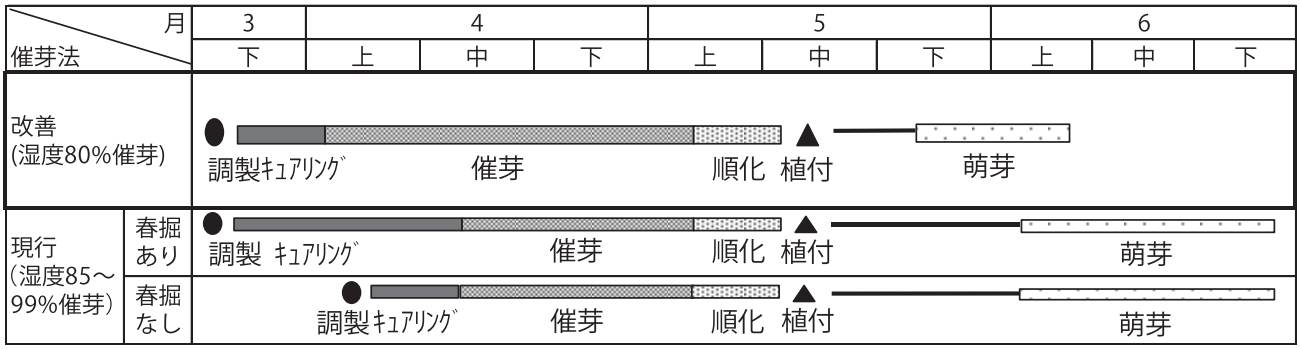
湿度100％



湿度80％



提案する催芽法と作業体系



3．留意点

（1）湿度の改善で10ａ当たり粗収益が約20万円アップします。

（2）作業や費用はほぼ変わりません。

（成績名：ながいもの安定生産に向けた催芽法改善）

もう少し詳しい情報はこちら

検索は、「農業技術情報広場、一般課題Ｒ１」で

本技術内容についての問い合わせ先
道総研十勝農業試験場
電話（0155）62－2431
E-mail：tokachi-agri@hro.or.jp